

“警告灯”の種類や意味を知っていますか？

システムになんらかの異常がある場合、スピードメーターなどがあるメータパネルの警告灯が点灯・点滅します。緊急性が高い場合には**安全な場所へ停車後し速やかに整備工場へご相談ください。**

警告灯・表示灯のマークは緊急性によって色分けされています。

赤色 ▶ 危険



ブレーキ警告灯（赤色）

エンジンスイッチがONのとき「キック」ブレーキが引いてある（踏んである）、ブレーキフルードが不足している場合に点灯します。走行中に警告灯が付いたときは、ただちに安全な場所へ停車してください。

黄色 ▶ 危険



ブレーキ警告灯（黄色）

電動パワーステアリングシステム/電子制御ブレーキに異常があると点灯します。ただちに整備工場へ点検を受けてください。



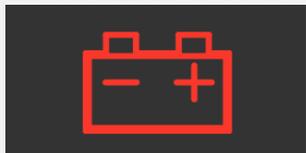
SRSエアバッグ / プリテンショナー警告灯

SRSエアバッグまたはプリテンショナー付きシートベルトに異常があると点灯または点滅します。正常な状態では、エンジンスイッチをONの位置にする点灯し、数秒後に消灯します。



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジンオイルの圧力に異常があると点灯します。点灯したまま走行を続けるとエンジンを破損する恐れがあります。
*オイル量を示すものではありません。



充電警告灯

エンジン回転中、充電システムに異常があると点灯します。十分な発電がされていない恐れがあります。そのままクルマをご使用になるとバッテリーあがりになる恐れがあります。



ABS&ブレーキアシスト警告灯

ABSまたはブレーキアシストシステムに異常があると点灯します。通常のブレーキ性能は確保されています。正常な状態では、エンジンスイッチをONの位置にする点灯し、数秒後に消灯します。



エンジン警告灯

エンジンまたはトランスミッションシステムに異常があると点灯します。正常な状態では、エンジンスイッチをONの位置にする点灯し、エンジンをかけると消灯します。



燃料残量警告灯

エンジンスイッチがONの位置のとき、燃料の残りが少なくなると点灯します（坂道やカーブでは燃料が移動するため、場合によっては早めに点灯することがあります）。点灯した場合には、速やかに燃料を補給してください。



高水温警告灯

エンジン冷却水が高水温異常になると点灯します。ただちに安全な場所に停車して点検してください。



半ドア警告灯

いずれかのドアが、きちんと閉まっていないときに点灯します。警告灯が点灯したまま走行しないでください。全てのドアがきちんと閉まっていることを確認してください。



シートベルト非装着警告灯

エンジンスイッチがONの位置のとき、運転席または助手席のシートベルトを着用していないと点滅します。ただちにシートベルトを着用してください。



タイヤ空気圧警告灯

■点灯した場合：自然要因やタイヤのパンクでの空気圧の低下を表します。
■1分間の点滅後に点灯した場合：タイヤ空気圧警告システムに異常があります。タイヤレベリング、タイヤ交換等で設定が変わった場合は初期化が必要です。



プリクラッシュセーフティ警告灯

プリクラッシュセーフティシステムが一時的に作動しない、またはシステムに異常があるおそれがあります。また、プリクラッシュセーフティがOFF時、VSC（ベークスレブリテクトロール）システムが停止しているときも点灯します。



クリアランスソナーOFF表示灯

■点灯した場合：クリアランスソナー（車両と障害物とのおおよその距離をセンサーによって感知するシステム）の不作為状態を表します。
■点滅した場合：クリアランスソナーの異常か、センサー部の汚れなどによりシステムが一時的に使用できない状況を表します。

*上記のマークはトヨタの代表的なマークです。メーカーや車種によって異なる場合がありますので、詳しくは使用車両の取扱説明書をご確認ください。